



高校生の短期留学ホームステイ スウェーデン王国レクサンド市への旅



レクサンド高校校舎内にて

当別町ではまちづくりを担う人材を育成する「当別町人材育成基金」を設けています。この基金を活用した事業の一つに高校生の短期留学ホームステイ研修事業があり、これまで異文化の体験や語学習得を目的としてアメリカ、カナダなどへの研修事業を実施してきましたが、平成27年度から研修先を姉妹都市であるスウェーデン王国レクサンド市へ切

り替えました。平成27年度は、パリの同時多発テロが発生しヨーロッパ情勢が不安定となったため、残念ながら事業は中止され、平成28年度の事業がレクサンド市への研修初年度となりました。12月10日から17日までの8日間の研修（レクサンド市滞在は5日間）で、研修生がどのような交流や経験をしてきたのかをご紹介します。

研 修 参 加 者

熊谷祥太郎（当別高等学校	2年	普通科）
安田 萌乃（札幌光星高等学校	2年	普通科）
首藤 汐里（札幌北陵高等学校	2年	普通科）
島田 月乃（石狩南高等学校	2年	普通科）

深瀬 碧乃（当別高等学校	2年	家政科）
齋藤まどか（当別高等学校	3年	普通科）
眞島由莉香（当別高等学校	3年	普通科）

熊谷祥太郎 君

初めての海外だったので、自分の英語が相手に伝わるのか不安で仕方ありませんでした。でもレクスンド市でホームステイ先の家に入った瞬間、自分の中のスイッチが切り替わったようで、知っている単語で相手に必死に話しかけ、その言葉を理解してもらえた時はとてもうれしく思いました。ホストファミリーの家には大きな冷蔵庫が2台あってその中に卵がいっぱいあったこ



とにはビックリしました。心配していた食事についても美味しくいただき、ファミリーにはジャンパーも買ってもらったりと、とても優しくしてくれて良い経験をさせていただきました。



安田萌乃 さん

友達の留学先を聞くと、アメリカやカナダなどの英語圏が多いですが、留学先としてあまり知られていないスウェーデンに行くことができたのは良い経験をさせていただいたと思っています。私のホームステイ先が教会だったこともあって、FIKA（フィーカ）の時間がとても多く、ホストファミリーや学校の友達以外の方、移民が多いスウェーデンなのでいろいろな国籍の方と



話ができただけは本当にうれしく思っています。スウェーデンでは中学生で母国語以外の英語でも会話ができることに驚いたので、今の勉強方法を考え直してもっと英語ができるようになりたいです。



※ FIKA：お茶をしながら会話をする、スウェーデンでは大切なひととき。

首藤汐里 さん

出発前は不安だらけでしたが、ホームステイ先のホストファミリーがとても優しく支えてくれたことに感謝しています。私が言葉に詰まって答えられなくても、フレンドリーに話しかけてくれたおかげで、コミュニケーションがとれ、帰るころには長く話ができるようになりました。夕食作りの手伝いをした時に、キッチン棚に瓶詰の調味料がたくさんあって、夕食の料理に何種



類もの調味料が加えられたことにはとても驚きました。レクスンド市内は信号機もほとんどなく、日本とは違った町並みの美しさにも感動し、この研修に参加できて本当に良かったと思いました。



夜のレクスンド市庁舎



ウルリカ市長（右端）と記念撮影

島田月乃 さん

レクサンド市には夜遅くに着き、ホストファミリーとしても本当は家でゆっくりしたい時間帯だったと思いますが、迎えに来てくれたり、家に着いてからも家族の事を話してくれたり、とても丁寧に対応をしてくれてありがく思いました。私がお世話になったファミリーは共働きであったこともあり、夕食のほとんどはお父さんが調理をしていました。食事は必ず家族全員がそ



ろってから食べる決まりとなっていたので、日本との文化の違いを感じました。ファミリーの女の子も私の事を友達に紹介してくれたり、とても良く接してくれて短い時間でしたがとても楽しく過ごせました。



深瀬碧乃 さん

出発前は現地で自分の英語が通じるか不安でしたが、現地に行くとホストファミリー、市役所の方、学校の友達など皆さんがフレンドリーに接してくれて、ちゃんとした英文にならなくても、単語を並べて言うだけでも、理解して優しく接してくれたのが、とてもうれしかったです。家の明かりはあまり電気を使わずキャンドルで過ごす家庭が多いようで、足元が暗く携帯電話



で照らして歩くこともありました。冬は夜が長いせいか町の景色は日本と違う雰囲気でも美しく感じました。研修メンバーで作った「うどん」は、レクサンド高校生に美味しいと好評だったのでうれしかったです。



齋藤まどか さん

初めての外国であったし、今回の研修メンバーの中でも私が一番英語ができないと思っていたので、現地に着くまでは、不安な気持ちでいっぱいでした。現地に着いたら、とにかくどうやったら自分の意志を伝えることができるのかを必死に考え、単語を羅列しジェスチャーを使って何とかコミュニケーションをとることができたのでほっとしました。研修メンバーの中には



初めて会う仲間もいましたが、この機会にとっても仲良くなれたし、日本とは違う風景にも感激したので、また、このメンバーと一緒にスウェーデンに行きたいと思いました。



レクサンド高校での理科の授業



レクサンド高校の食堂で昼食

眞島由莉香 さん

平成 27 年度の研修で行く予定でその年の夏にレクサンド高校から来た留学生との再会を楽しみにしていたのですが、パリの同時多発テロの影響で中止になってしまったとても残念な思いをしていました。今回無事に出発でき、その留学生にも会えてうれしかったし、以前より日本語が上手になっていることに驚きました。コミュニケーションをとりやすくしようと、少し覚えた



スウェーデン語で話しかけると、相手がとても喜んでくれて、どんどん積極的に話しかけてくれたのでとてもうれしくなりました。幻想的で美しい本場のロシアコンサートも見ることができてとても感動しました。



レクサンド教会
ロシアコンサート



長さ 20 m 以上の
マイストングは
当別の約 2 倍の長さ



レクサンド市内
の風景



レクサンド市にある当別通りで記念撮影
同行の当別高校大塚先生（左上）と
当別町下村主任（右端）

平成 29 年はレクサンド市との姉妹都市提携 30 年を迎え、記念事業を行うこととなりますが、研修生たちは、今回の経験をもとにぜひ記念事業に関わって、お世話になったお礼がしたいと語ってくれました。町は研修生のこれからの成長・活躍に期待を寄せています。

次回の研修予定が決まりましたら、広報誌等で募集します。ぜひご応募ください。